

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 小池 拓矢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2022年10月分】

1. 実施した活動の概要・状況

今月は、青森県内の旅行者と大学生を対象とした川内町のモニターツアーを実施した。既存の観光資源を見て回ったり、カヤック・SUP体験を実施したりしたが、参加者のアンケート結果からは、観光資源の見せ方や行程の工夫など、これまで気づかなかった着想を得られた。今後は、旅行者とともに新たな観光商品の作成を進めていきたい。

（主な活動）

◇10月2日（日）むつ中央公民館 秋の自然観察会

川内川渓流の遊歩道を散策する自然観察会でのガイドを務めた。公民館の事業に参加した子どもたち10人ほどを案内し、遊歩道沿いの植物や川の地形の成り立ちなどを説明した。子どもたちはどんぐり拾いに夢中になっていたが、ミズナラやブナの葉っぱの見分け方など、少しでも身近な森に生えている木々について勉強してもらえたのではないだろうか。



◇10月8日（土）、9日（日）むつ小川原地域産業・振興財団助成事業 川内町モニターツアー

JTB 青森支店、しもきた TABI あしすと、青森県内の大学生を招待して、カヤック・SUP 体験を中心とした川内町の1泊2日のモニターツアーを実施し、旅行商品化に向けた検討を行った。1日目は、川内町の郷土料理である「けいらん」作り体験、川内川溪流と安部城鉦山跡の散策を行い、最後にふれあい温泉川内に入浴した。2日目は、スパウッド観光ホテルをチェックアウトしてそのまま、ホテルの向かいにある河川敷をスタートし、かわうち・まりん・びーちを目指すカヤック・SUP 体験を行った。

カヤック・SUP 体験に関しては、「川と海の2つの異なる環境で漕ぐことができるのが面白い」、「岩木山や八甲田山などの眺めがいい」などの感想を得られたので、これと温泉を組み合わせたプログラムを旅行業者とともに検討していく予定である。



◇10月13日（木）青森大学むつキャンパス ソーシャルビジネスに関する講義

ゲスト講師として、むつキャンパスの受講生に NPO 法人の活動内容の紹介を中心とした講義を行った。事業の目的や組み立て方、NPO 法人のスタッフや地域おこし協力隊として、どのようなことを考えながら活動を行っているかを学生に伝えた。講義後半には海岸清掃や教育活動をどのようにビジネスにつなげていくかについてのワークショップを行い、学生との意見交換を行った。



2. 翌月の活動予定

- 11月16日（水）、17日（木）北海道函館市周辺の地域おこし協力隊との交流およびアクティビティ体験
- 20日（日）青森大学むつキャンパス イベントのブース出展